

第20回 母乳育児シンポジウム

伝える 伝わる 母乳育児

外来助産師指導開始後、1ヶ月健診時母乳率が 83.9%から 88.6%へ改善

高知ファミリークリニック

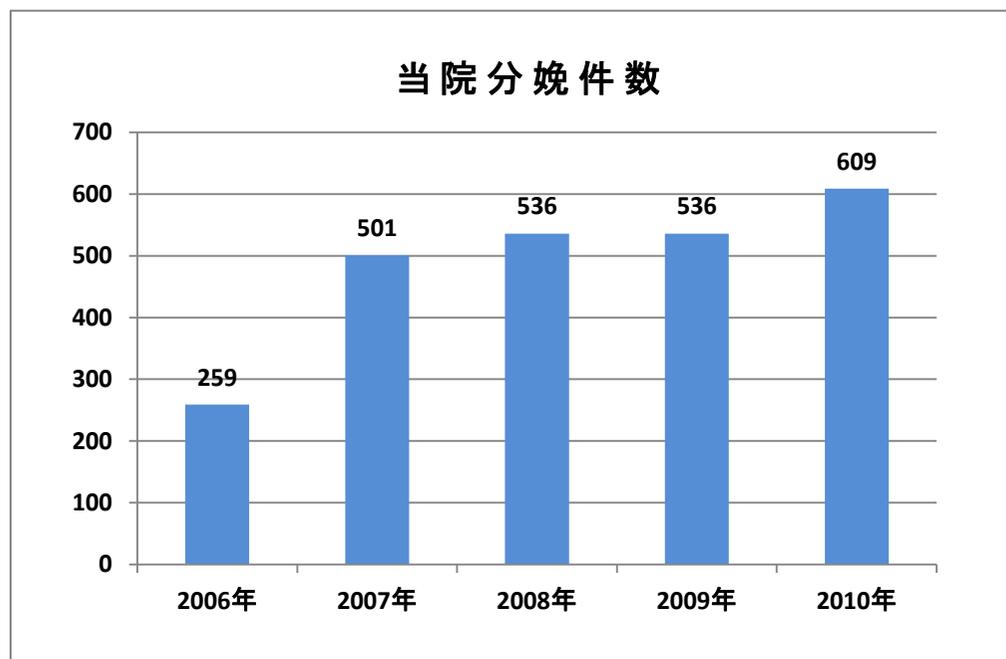
小松延江 芝田早穂子 野田ひろみ 福永寿則

開催日：平成23年8月6日・7日

会場：京都市 みやこめっせ

◆はじめに

当院は、開院当初より妊産婦だけでなく、家族も含めた育児支援に取り組んでおり、2010年は609件の分娩がありました。母乳育児支援の更なる充実を図るため、2009年10月から妊婦健診時に、助産師指導を取り入れた結果、母乳率の改善が見られましたので、ご報告させていただきます。



【当院紹介】

帝王切開率 10.2 % (2010年)
(うち骨盤位、前回帝切が 7.6 %)

当院は開院当初より妊産婦だけでなく、家族も含めた育児支援に取り組んできた

- ソフロロジー式分娩(準備)
- 家族立会い分娩
- STS
- 分娩直後からの母子同室・家族同室
- 母乳育児

2009年10月より助産師指導を妊婦健診時に設けた。その結果、2週間健診時及び1か月健診時の母乳率に改善がみられ、助産師指導の有用性と、内容の更なる充実の重要性が確認できたのでここに報告する。

◆研究目的・方法

対象は、2009年分娩536例中正常新生児491例、2010年分娩609例中正常新生児553例です。

○目的: 当院における母乳率の推移および母乳育児への援助方法の現状を確認することにより、
今後の母乳育児推進の取り組みの向上を図る

○対象: 2009年分娩536例中正常新生児群491例、及び2010年分娩609例中正常新生児群553例

○方法: 診療記録、および2週間健診時・1か月健診時の母親の申告による授乳状況からのデータ収集

【当院における母乳育児支援の取り組み】

当院における、これまでの母乳育児支援の取り組みについては、下記をご覧ください。

(外来) 妊娠4カ月 冊子「お母さんと赤ちゃんのための母乳育児」を渡す

妊娠5カ月 本購入の勧め ①「新母乳育児なんでもQ&A」
②「抱かれる子供はよい子に育つ」
「ソフロロジー式分娩(妊娠中の過ごし方)」の説明

妊娠6カ月 母親教教室(1回)
:「新しい家族のスタート」、「ソフロロジー式分娩法」

妊娠8カ月 冊子「快適な育児のコツ」を渡す

(入院中)分娩直後からの24時間母子同室

分娩直後からの頻回授乳を指導

1日12回を目安 → 母乳育児安定期には1日7~8回の授乳を目安
授乳姿勢(抱き方、ポジショニング)と適切な吸着(含ませ方、ラッチ・オン)等

糖水・人工乳追加基準

- ① 児の体重減少が12~13%で、その時点の母乳分泌量などから、さらに体重減少が予想される場合
- ② 低出生体重児で、補足しなければ、体重が2100g以下に減少することが予想される場合
- ③ 排尿回数が1日に1回以下の場合
- ④ 体温上昇し、感染徴候がなく、環境の調整によっても改善しない場合
- ⑤ 児が泣き止まないなど、母親の精神的ストレスの大きい場合

追加方法(カップまたはスプーン使用)

- ①②に対しては、医師の指示で人工乳を1日4回、10~20ml追加
- ③④⑤に対しては、医師の指示で適宜 5%糖水を 20ml投与

(退院後) 2週間健診(退院後5~7日目健診)

【助産師指導の実際】

助産師指導は、前期・中期・後期の3回で、各期に応じ、また妊婦の個別性に対応した指導を行っています。
助産師指導は予約制であり、30分枠に一人となっています。

(流れ) 受診→血圧測定・検尿→体重測定(適宜採血)→Drによる経腹エコー→助産師による内診・指導

* 助産師は、妊婦の基本情報、妊娠経過、本日の健診結果等を把握したのち、内診・指導に移る

(助産師チェック・指導項目)

前期: 母子手帳の活用
栄養・体重管理
身体清潔・ブラジャー
冷え防止・便秘など
冊子①配布

「お母さんと赤ちゃんのための母乳育児」
ソフロロジー式分娩DVD貸出

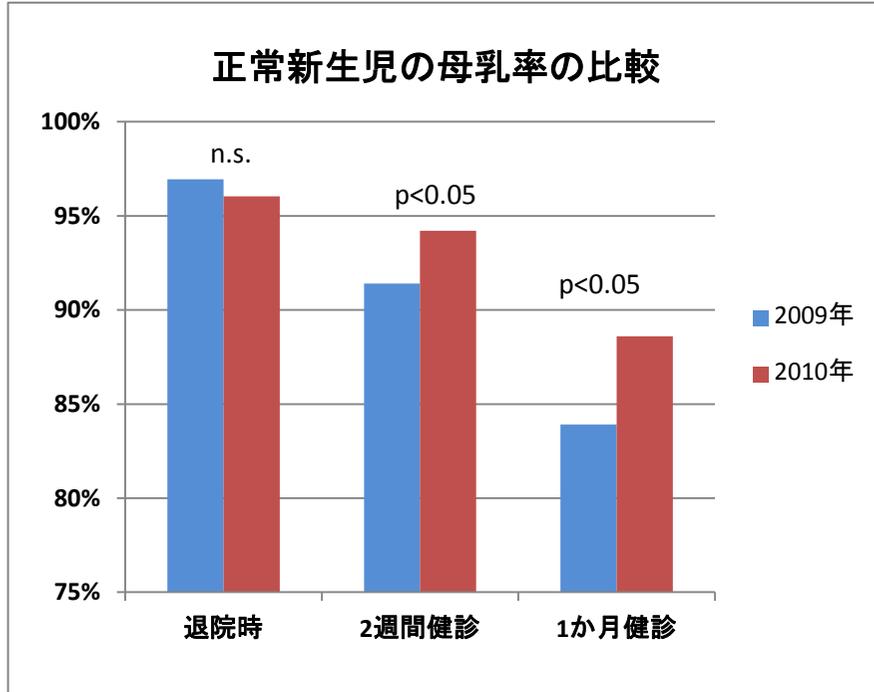
中期: 入院のご案内
出産・赤ちゃん用品
妊娠後期の異常
乳頭チェック・指導
冊子②配布
「快適な育児のコツ」
CD②貸出

後期: 分娩経過の説明
入院の生活説明
母乳育児・授乳指導
乳頭チェック・ケア
基本情報確認

◆結果・1

＜正常新生児の母乳率の比較＞

2009年と2010年の、正常新生児の母乳率を比較しますと、2週間健診では91.4%から94.2%に、1ヶ月健診では83.9%から88.6%に、ともに有意な改善が見られました。



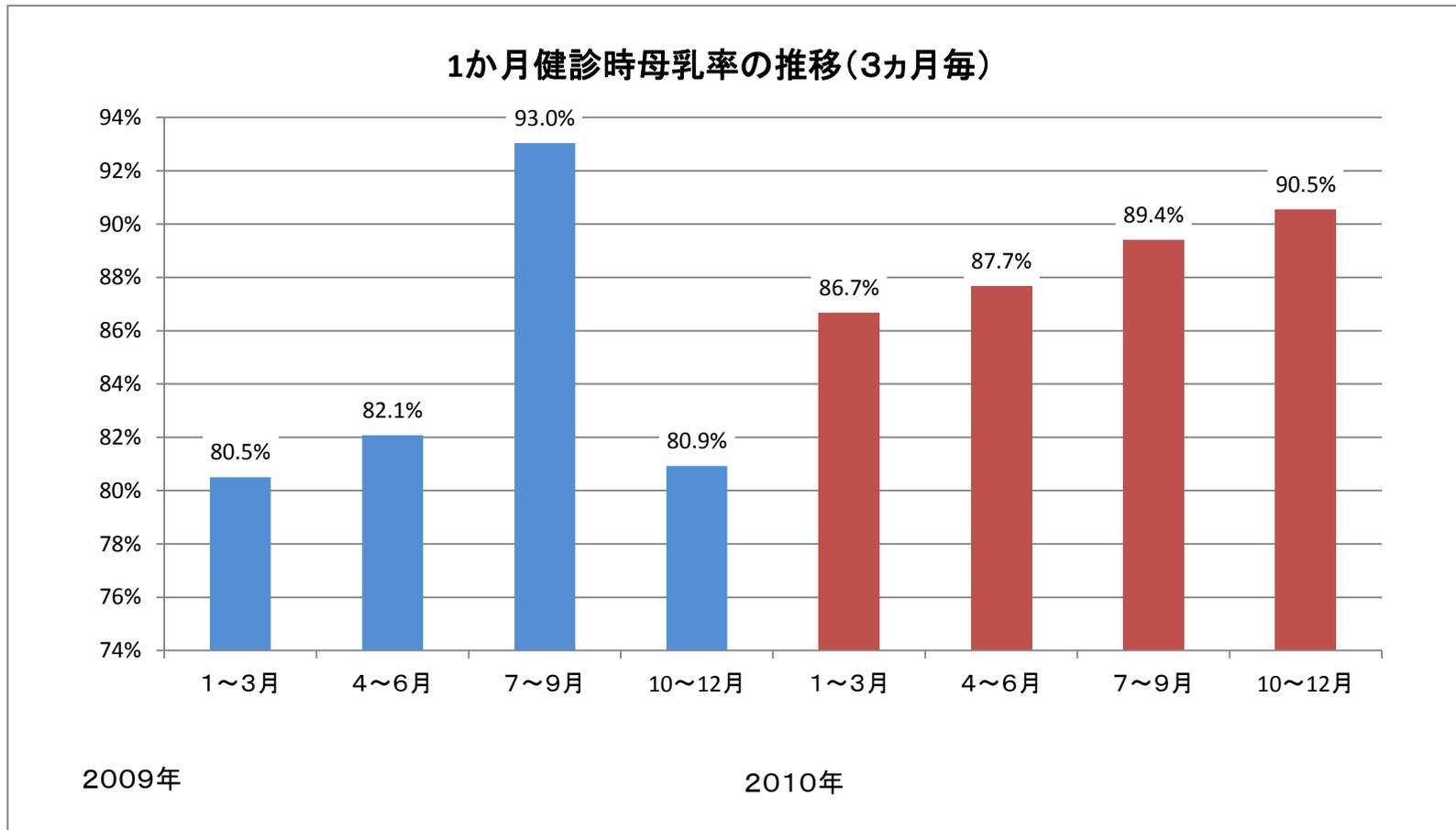
正常新生児の母乳率

	正常新生児数	退院時	2週間健診	1か月健診
2009年	491	476 96.9%	447 91.4%	412 83.9%
2010年	555	533 96.0%	520 94.2%	490 88.6%

◆結果・2

<1ヵ月健診時の母乳率の推移>

このグラフは1ヶ月健診時の母乳率の推移を、3ヶ月ごとにまとめて検討したものです。
2010年1月以降母乳率の改善がみられています。これは、2009年10月から始めた外来助産師指導の効果が、
2010年1月以降の出産から現れているのではないかと考えられます。
なお、2009年の7-9月の群で母乳率が93%と高くなっていますが、
クリニック側の要因としては明らかなものはありませんでした。



◆結果・3

〈退院時栄養状況別の1ヵ月健診時母乳率〉

次に、母乳率の改善が、どのような産婦さんで大きかったのかを検討しました。

正常新生児を、退院時栄養状況別に、下記の通り4つの群に分けました。

グラフにもありますように、非順調群のB群で母乳率の有意な改善が見られ、またC群でも症例数の関係で有意差はありませんでしたが、やはり母乳率が大きく上昇しています。

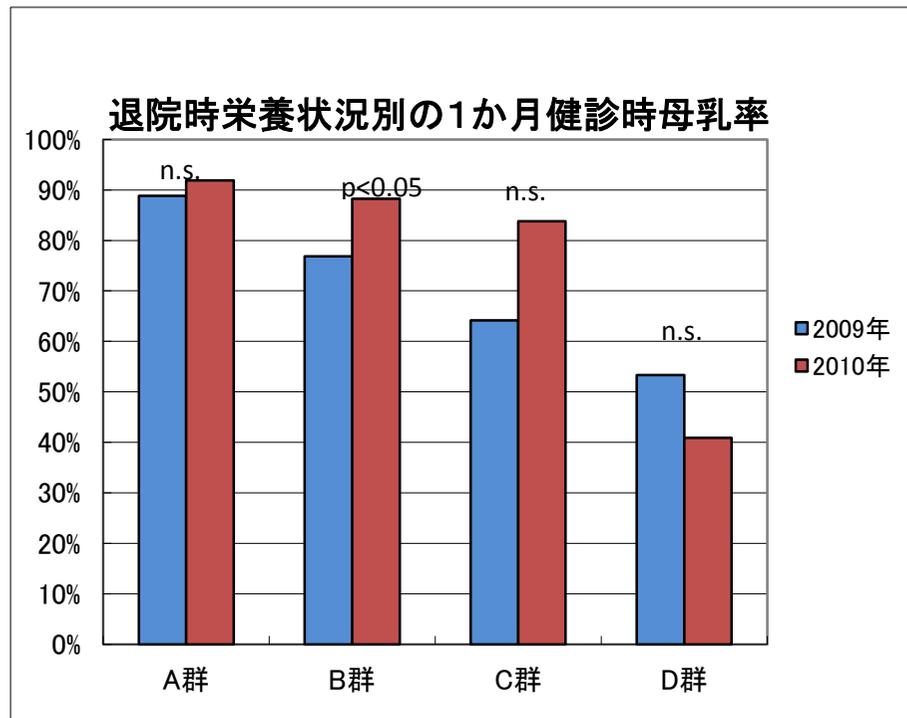
正常新生児の、退院時栄養状況による分類

順調群・・・ A群:退院時完全母乳で、退院時日齢4体重増加日数1以上、あるいは退院時日齢5体重増加日数2以上の順調に退院した群

非順調群・・・ B群:退院時完全母乳群の内、A群を除いた群

C群:入院中に糖水、あるいは人工乳を足したが、退院前24時間は母乳のみであった群

混合群・・・ D群:退院時混合栄養であった群



	正常新生児	A群	B群	C群	D群
2009年	491	340 69.2%	83 16.9%	53 10.8%	15 3.1%
2010年	555	385 69.4%	111 20.0%	37 6.7%	22 4.0%

1ヵ月健診時母乳率

	2009年	2010年
A群	89.1%	91.9%
B群	77.1%	88.3%
C群	69.8%	83.8%
D群	53.3%	40.9%

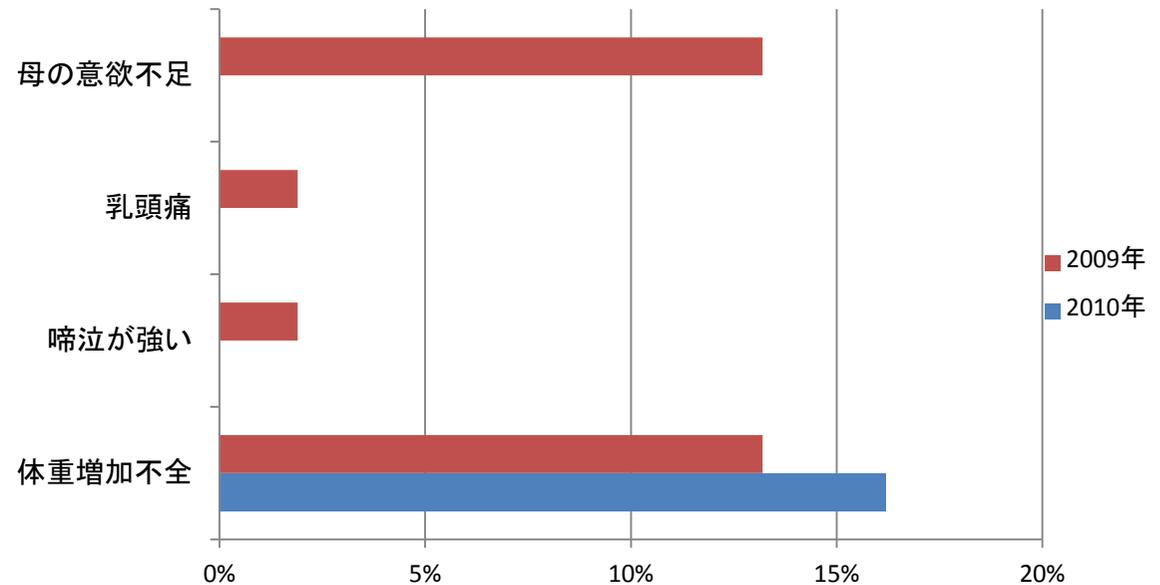
◆結果・4 <人工乳追加理由>

結果4は、C群で1ヶ月健診時に混合栄養となっていた母子の、人工乳追加理由を示したものです。2009年には、母乳育児に対す母親の意欲不足が多く見られましたが、2010年には、母親の意欲不足による人工乳の追加は見られなくなっています。

C群(入院中に糖水あるいは人工乳を足したが、退院前24時間は母乳のみであった群)で1ヵ月健診時に「混合」であったものの、退院後の人工乳追加理由(主なもの一つ)

	2010年		2009年	
(C群総数)	37		53	
体重増加不全	6	16.2%	7	13.2%
啼泣が強い			1	1.9%
乳頭痛			1	1.9%
母の意欲不足			7	13.2%

退院後の人工乳追加理由
(1ヵ月健診時混合となったC群について)



◆考察・結論

母乳育児は妊娠中からの支援が大切であり、出産前の準備期間を通して、妊婦に正しい知識や情報を提供し一人ひとりと正面から向き合い、信頼関係を築きながら支援していくことが母親が実際に母乳育児を実践していく上で、とても重要であります。

助産師指導での関わりが、母親の母乳育児に対する意識付けや、知識の向上、安心感となり、退院後も母乳育児をスムーズに継続できることに繋がったと思われます。

また、その結果、1ヶ月健診時の母乳率の改善が見られたと考え、助産師指導の有用性が確認できました。

助産師指導での関わりが、母親の母乳育児に対する意識付けや知識の向上、安心感となり、退院後も母乳育児をスムーズに継続できることに繋がったと思われる。

また、その結果、1ヵ月健診時の母乳率に改善が見られたと考えられ、助産師指導の有用性が確認できた。



①分娩について

		件数	(%)
(1)全分娩数		609	100.0
	単胎	609	100.0
	多胎	0	0.0
(2)分娩様式			
	経膈分娩数	547	89.8
	帝王切開数	62	10.2
(3)医療行為を行った数(重複あり)			
	吸引分娩	82	13.5
	鉗子分娩	0	0.0
	会陰切開	115	18.9
	陣痛誘発促進剤	131	21.5
	硬膜外麻酔	0	0.0

②新生児について

		人数	(%)
新生児	総数	609	100.0
在胎週数	42週以上	2	0.3
	37-41周	599	98.4
	28-36週	8	1.3
	28週未満	0	0.0
	不明	0	0.0
出生体重	4000g以上	3	0.5
	2500-3999	573	94.1
	1500-2499	33	5.4
	-1499	0	0.0

③産後入院期間(正常新生児群について)

		平均入院日数
経膈分娩	初産	4.3
	経産	3.9
帝王切開		5.0

④正常新生児の栄養方法(在胎37週以上42週未満、出生体重2500g以上4000g未満)

1)入院中の栄養方法

	入院中の栄養方法		退院時の栄養方法	
	人数	(%)	人数	(%)
対象新生児数	555	100.0	555	100.0
母乳のみ	496	89.4	533	96.0
糖水追加	47	8.5	0	0.0
人工乳追加	27	4.9	22	4.0
人工乳のみ	0	0.0	0	0.0

2)退院後の栄養方法

	2週間健診		1カ月健診	
	人数	(%)	人数	(%)
受診数	552	100.0	553	100.0
平均日齢	12.2		31.8	
母乳のみ	520	94.2	490	88.6
混合	31	5.6	59	10.7
人工乳のみ	1	0.2	4	0.7

3)入院中の体重減少率

	経膈分娩	帝王切開
新生児数	500	55
最低体重日齢	2.6	2.9
最低体重(%)	-8.6	-10.0
退院時体重(%)	-6.3	-7.2